市民情報提供資料
企画財務部企画政策課

Ｃ－１３０輸送機による物資投下訓練におけるパラシュートの施設区域外への落下について

平成３０年１２月２１日付広資料第１５１号及び同月２７日付広資料第１５４号でお知らせしたこのことについて、防衛省北関東防衛局より、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。

記

○　情報提供内容

在日米軍横田基地第３７４空輸航空団は、１２月１９日に発生した東富士演習場外パラシュート誤降下について、原因等を調査していたところ、事故の原因は人的ミスによるものと連絡がありましたので、お知らせします。

なお、発生原因の具体的な内容、本件の再発防止及び安全対策は、次のとおりです。

１　発生原因

⑴　訓練に参加していたロードマスター（航空機の機体から貨物を押し出す係員）が、空中投下の位置を誤ってコンピューターに入力したため、パラシュートが展開した後も貨物が機体内にロックされ、空中投下に至らなかった。

⑵　このため、展開したパラシュートが航空機機体に影響を与え、航空機事故につながりかねず危険であることから、緊急時の手順に従い、直ちにパラシュートを切り離した。

⑶　なお、空中投下訓練及びパラシュートの切り離しは演習場内上空で行われたが、パラシュートが展開していたことから、風の影響により演習場外に落下してしまった。

２　再発防止及び安全対策

⑴　ミスを犯したロードマスターは、１２月１９日の訓練後、当該任務の資格を剥奪され、同任務を遂行するに足りると判断されるまで、同様の任務に従事させない措置をとった。

⑵　在日米軍横田基地第３７４空輸航空団の隷下にあるＣ－１３０の運用に関係する全ての部隊員に対し、調査の結果を伝え、注意喚起を行った。